

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立二川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒441-3151
愛知県豊橋市二川町北裏 80

E-mail : futagawa-e@toyohashi.ed.jp

Website : http://www.futagawa-e.toyohashi.ed.jp/futagawa-e/index1.htm

児童生徒数：男子 239 名 女子 218 名 合計 457 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 郷土の自然に触れ、それを守る人たちと交流する

校区には、「岩屋緑地」と呼ばれる里山がある。岩屋山と大蔵山が連なる20.97haの自然豊かな場所で、四季折々の自然を楽しむことができる市民の憩いの場所である。

岩屋緑地に親しむ会（通称「親しむ会」）は、地元住民を中心に結成され、散策路の整備や植樹活動を行い、緑地の自然を守っているボランティア団体である。

本校は、3年生を中心に、この会の方たちと盛んに交流を続けている。

11月6日には、「秋見つけ」と称し、3年生68名は、親しむ会12人の方の支援で自然観察をするために岩屋緑地を訪れた。

理科の授業ではオクラやハウセンカの栽培を通し、植物の生長と、季節による変化について学習してきた児童にとって、緑地に群生している多様な植物は、絶好の学習素材であった。

親しむ会の方たちは、緑地の植物についてはとても詳しく、珍しい葉の形をした木や、実をつけている木の場所を教えてくれ、児童は興味深く観察していた。

緑地の南端の道路沿いには、センリョウとマンリョウの木があり、親しむ会の方から「どちらがセンリョウで、どちらがマンリョウか？」という問いかけがあった。同じ赤い実をつける植物なので、見分けがつきにくい。「センリョウは、葉の上に実がついていて、マンリョウは葉の下についている」と教えられ、児童は2種類の植物を興味深く観察していた。



岩屋緑地には、ホナガナツハゼという希少価値の高い植物が自生している。その場所まで移動し、親しむ会の方から、「豊橋市では、この岩屋緑地と葦毛湿原でしか見られない貴重な植物なんだよ」と説明を受けていた。観察を通して、貴重な植物が自生しているすばらしい郷土の里山をみんなで守っていかなければいけないということを児童は感じる事ができた。その後、休日に親しむ会が主催して行われた植樹活動に自主的に参加した児童もあり、ヤマザクラやブナの苗木の植樹に携わっている。

親しむ会と3年生との交流は、この「秋見つけ」だけではなく、11月28日には、校内で、児童の保護者66名も参加し、8人の親しむ会の方から手ほどきを受けて、五平餅作りも行われた。児童は、お米をつぶし、もんで形を作り、炭火で焼いて仕上げた。親しむ会の方直伝のクルミとハチミツが入った特製の味噌だれを塗った五平餅は、とてもおいしく、次の日早速自宅で作



り方を思い出して作った子が3人いた。ただし、家庭では炭火で焼くのは難しかったのか、一人の子は「オーブントースターでは、炭で焼いたものほどうまくできなかつた」という感想を担任に話していた。

郷土の自然に触れ、郷土の料理を味わい、地域の方との交流を深める活動を続けていくことで、今後もふるさとを愛することができる児童を育てていきたいと考えている。

② 歴史ある街並みを自作の灯籠で彩る

旧東海道の宿場町として栄えた二川の町には、東西約1.5kmにわたる旧街道があり、江戸時代の面影を残している。二川の町の人々は、この街並みを愛し、誇りに思っている。旧街道のほぼ中央に位置する二川宿本陣資料館が後援団体のひとつとなり、二川の町の人々が力を合わせて始めた「灯籠で飾ろう二川宿」（通称「灯籠祭り」）というイベントは、7月26日に3回目を迎えた。



二川小学校では、この灯籠祭りに全校児童が図画工作科で描いた作品を出品している。下記は、この祭りに向けて制作した各学年のテーマ等である。

学年	テーマ	解説
1	いっぱいあそんだよ	自分が遊んだ姿を和紙に描いた。切ったペットボトルに砂を入れ、ろうそくを立てて展示。
2	〇〇といっしょにおよいだよ	海の生き物といっしょに泳いだ自分を想像し描いた。展示方法は1年と同じ。
3	おしゃれな虫	お気に入りの虫を描いた。岩屋緑地に自生する竹の内側にマーカーペンで表現。ろうそくを立てて竹灯籠とした。
4	地球の仲間の顔	気になる動物の顔を描いた。展示方法は、3年と同じ。
5	もしもし文字さん	自分の名前の文字やお気に入りの文字を選び、デザイン化して平面構成の作品を制作。木枠に貼り付け、中にろうそくを立てて展示。
6	お気に入りの花たち	自分のお気に入りの植物を選び、花を中心に大きく描いた。5年と同様に木枠を使用。

※児童が描いた絵を地域の方が協力して灯籠に仕上げてくれた。

夏の強い陽射しが和らぎ、夕刻を迎える頃、地域の方たちの手によって児童が制作した絵に明かりが灯っていった。自分の絵が幻想的に浮かび上がる光景を見るために多くの児童が旧街道を訪れた。

連なる灯りに浮かぶ街並みをながめながらゆっくりと歩くと、かつて宿場町として栄えたころの面影をしのぶことができた。二川の古き街並みを愛し、町を盛り上げようと献身的に活動する人々に支えられたイベントに関わることで、児童は伝統文化を愛する気持ちを持つことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）